

福岡市が管理運営するホームページにかかる
アクセシビリティ対応基準書
(外部発注用)

2025年3月

目次

| | |
|----------------------------|----|
| 本書の位置づけ | 2 |
| 1. 基本要件 | 4 |
| 1.1 構築に用いる技術..... | 4 |
| 1.2 対応ブラウザ..... | 5 |
| 2. ウェブアクセシビリティ対応基準..... | 6 |
| 2.1 達成基準..... | 6 |
| 3. ホームページ構築・運営上必要な取組..... | 11 |
| 3.1 アクセシビリティ方針の策定・公開 | 11 |
| 3.2 取組内容及び実現内容の確認 | 11 |
| 3.3 実現内容の確認（試験）・公開 | 12 |
| (参考) 参照すべき規格及び文書 | 13 |

本書の位置づけ

福岡市が管理運営するホームページの構築にあたっては、提供する情報やサービスを高齢者や障がい者を含めた誰もが支障なく利用できるよう、ウェブアクセシビリティに十分配慮する必要がある。

なお、福岡市が管理運営するホームページとは、福岡市が構築するすべてのホームページのことであり、ウェブアクセシビリティへの対応が求められている対象は、いわゆる公式ホームページだけでなく、業者に委託するなどにより各部署で独自に構築・管理運営するホームページも含む。

「福岡市が管理運営するホームページにかかるアクセシビリティ対応基準書」（以下、本書）は、業者に委託するなどにより各部署で独自に構築・管理運営するホームページが JIS X 8341-3:2016 適合レベル AA 準拠を達成するために活用するものである。

●根拠となる JIS 規格『JIS X 8341-3:2016』と関連法規について

JIS X 8341-3 は、情報アクセシビリティの日本産業規格（JIS）である「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス」の個別規格として 2004 年（平成 16 年）に初めて公示されたもので、ホームページ等を高齢者や障がい者を含む誰もが利用できるものとするための基準が定められている。その後、2 度の改正を経て、2016 年（平成 28 年）3 月に JIS X 8341-3:2016 として改正されたものが現在の最新版である。JIS X 8341-3:2016 は、ウェブアクセシビリティの国際的なガイドライン『Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.0』が ISO/IEC の国際規格として承認されたことを受けて、その規格に一致するように文書構成や用語が変更されたもので、国、地方公共団体等公的機関のホームページは JIS X 8341-3 : 2016 に対応することが求められている。

また、総務省は、国及び地方公共団体等の公的機関が JIS X 8341-3 : 2016 に基づきウェブアクセシビリティへの対応を進めるための実施項目や手順、重視すべき考え方等をまとめた「みんなの公共サイト運用ガイドライン」を 2016 年（平成 28 年）3 月に改正・公表している。福岡市ホームページはこの「みんなの公共サイト運用ガイドライン」に従いウェブアクセシビリティを確保している。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（通称：障害者差別解消法）が 2016 年（平成 28 年）4 月に施行され、市としても「福岡市障がい者を理由とする差別をなくし障がいのある人もない人もともに生きるまちづくり条例」（通称：福岡市障がい者差別解消条例）を 2019 年（平成 29 年）1 月に施行した。

こうしたことを踏まえ、ホームページを構築・運営管理する上で、障がい者を理由とする情報の伝わりにくさ等が生じないように、さらなるウェブアクセシビリティの向上に努める。

なお、JIS X 8341-3:2016 は、ウェブサイト、ウェブアプリケーション、ウェブシステムなどのコンテンツ、CD-ROM などの記録媒体を介して配布される電子文書等、支援技術を含むユーザーエージェントを用いて利用されるコンテンツ全般に適用されるものである。

●JIS X 8341-3 改正に向けて求められる取組について

2023年（令和5年）10月にWCAG2.2がW3C勧告となりISO/IEC 40500の更新が行われる見込みである。JISは同じ分野のISOがある場合に、それを採用する原則があり、JIS X 8341-3の改正は、ISO/IEC 40500の更新版（WCAG2.2）が採用される見込みである。

WCAG2.1は、WCAG2.0の達成基準に、新たに17の達成基準が追加された。スマートフォンなどのモバイル端末（タッチデバイス）への対応、弱視への対応、認知・学習障害への対応などが盛り込まれている。

WCAG2.2は、WCAG2.1の達成基準に、新たに9の達成基準が追加され、4.1.1 構文解析の達成基準が廃止になった。フォーカス枠、認証方法、ヘルプリンクなど、現在の情報システムで使われているナビゲーションに対応した達成基準が盛り込まれている。

JIS X 8341-3:2016は61の達成基準があるが、WCAG2.2に基づいた改正が行われた場合、次期JIS X 8341-3では達成基準が86となる。そのうち、運用ガイドラインが求める適合レベルAA準拠のために満たす必要のあるA及びAAの達成基準は、38から55に増える見込みである。

JIS改正に対応するためには、まず、本書に基づく取組を十分かつ適切に実行し、JIS X 8341-3:2016に確実に対応できていることが前提となる。その上で、JIS改正により追加される達成基準へできる限り対応するようにする。

なお、2024年（令和6年）5月に「みんなの公共サイト運用ガイドライン」が改正・公表され、主に（1）近い将来予定されているJIS改正に向けた動向・求められる取組みの解説、（2）公的機関取組事例の刷新、（3）関係法令、参照文書等の最新化が盛り込まれている。

●福岡市が管理運営するホームページが対応すべき事項について

福岡市が管理運営するホームページは、下記の対応を実施する。

| 対応事項 | タイミング | 本書との関係 |
|-------------------------------|--------------------------|--|
| ①アクセシビリティ方針の策定・公開 | ホームページ構築前・ 公開時 | 3. ホームページ構築・ 運営上必要な取組 3.1 アクセシビリティ方針の 策定・公開 |
| ②JIS X 8341-3:2016 適合レベルAAに準拠 | ホームページ構築時 | 1. 基本要件 2. ウェブアクセシビリティ対応 基準 |
| ③取組内容の確認・公開 | ホームページ公開時・ 運用時（1年に1回） | 3. ホームページ構築・ 運営上必要な取組 3.2 取組内容及び実現内容の 確認・公開 |
| ④実現内容の確認（試験）・公開 | ホームページ公開時・ 運用時（1年に1回） | 3. ホームページ構築・ 運営上必要な取組 3.3 実現内容の確認（試験）・ 公開 |

1. 基本要件

1.1 構築に用いる技術

ホームページは各種ブラウザや OS、音声読み上げソフト等の支援技術が連携することによって提供される。利用環境が多様化する中で、どのような環境においても支障なく利用できるようにするためには、標準の規格やガイドラインに従って構築する必要がある。HTML や CSS などは W3C が発表している標準に従う、特定の企業が提供している技術（画像や PDF など）についてはこれらの提供者が発表している仕様やルールを守るなど、標準規格に従って構築することが、誰もが支障なく利用できるホームページを構築するための基本となる。

使用するウェブコンテンツ技術にバリデーターがある場合は、これらを活用して、技術や条件が許す限りにおけるエラーを修正し、問題がないことを確認する。また、可能な限り音声読み上げソフトなどの支援技術を用いて検証を行い、問題ないことを確認すること。

最新の JIS 基準（現行は JIS X 8341-3:2016）適合レベル AA 準拠が達成できる技術で構築する。

具体的には、各部署で独自に構築・管理運営するホームページにおいて、対応範囲と定めたブラウザや音声読み上げソフト、キーボード操作などの動作を妨げることがないように、JIS 基準（現行は JIS X 8341-3:2016）で規定されている適合レベル AA の項目を全て達成することを前提とする。

HTML については、納品前に以下のサービスを利用し、問題がないというメッセージが表示されることを確認する。（エラーが発生する場合には、技術や条件が許す限りにおいて修正する。）

W3C Markup Validation Service について <https://validator.w3.org/>

CSS については、納品前に以下のサービスを利用し、問題がないというメッセージが表示されることを確認する。（エラーが発生する場合には、技術や条件が許す限りにおいて修正する。）

W3C CSS Validation Service について <https://jigsaw.w3.org/css-validator/>

1.2 対応ブラウザ

主な OS 標準のブラウザと特に市場シェアの高いブラウザでは概ね同じ表示・動作がなされるように構築すること。利用者が増加しているスマートフォンやタブレットについては、Android と iOS・iPadOS それぞれの実機での確認も行うこととする。

古いバージョンのブラウザでも、サポート中のものについては、可能な限り問題なく表示・動作させるようにすること。

<対応ブラウザの例>

■Windows

- Google Chrome 最新版
- Microsoft Edge 最新版
- Firefox 最新版
- Opera 最新版

■Mac

- Safari 最新版
- Opera 最新版
- Firefox 最新版
- Google Chrome 最新版

■Android

- Android ブラウザ最新版
- Chrome 最新版

■iOS・iPadOS

- Safari 最新版

少なくとも以下のいずれかの最新版音声読み上げソフトで、内容に過不足無く、読み上げの順序と意味の順序に整合性が取れていることを確認する。

- PC-Talker
- NVDA
- VoiceOver
- ナレーター
- TalkBack

2. ウェブアクセシビリティ対応基準

2.1 達成基準

JIS X 8341-3:2016 適合レベル AA に準拠するよう対応する。

下記に、JIS X 8341-3:2016 の達成基準と適合レベルの関係性、及び、達成ポイントを示すが、適合レベル AA の達成基準については必ず準拠することが必要である。

なお、達成方法についての詳細は、WCAG 2.0 関連翻訳文書（「WCAG2.0 解説書」「WCAG2.0 達成方法集」等）を参照すること。

| JIS X8341-3:2016 達成基準 | | 適合レベル | | | 達成ポイント |
|--------------------------|----------------------------------|-------|----|-----|--|
| | | A | AA | AAA | |
| 1.1.1 | 非テキストコンテンツの達成基準 | ★ | | | リンクの表現は、リンク先を予測できる内容にする 画像に適切な代替テキストを用意する 音声で情報を提供する場合は、音声で伝える情報の内容をテキストで用意する 動画で情報を提供する場合は、動画で伝える情報の内容をテキストで用意する PDF の使用は最小限とし、使用する場合は作成方法、提供方法に配慮する 入力フォームは分かりやすく作成する |
| 1.2.1 | 音声だけ及び映像だけ（収録済み）の達成基準 | ★ | | | 音声で情報を提供する場合は、音声で伝える情報の内容をテキストで用意する 動画で情報を提供する場合は、動画で伝える情報の内容をテキストで用意する |
| 1.2.2 | キャプション（収録済み）の達成基準 | ★ | | | 動画で情報を提供する場合は、動画で伝える情報の内容をテキストで用意する |
| 1.2.3 | 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）の達成基準 | ★ | | | 動画で情報を提供する場合は、動画で伝える情報の内容をテキストで用意する |
| 1.2.4 | キャプション（ライブ）の達成基準 | | ★ | | 動画で情報を提供する場合は、動画で伝える情報の内容をテキストで用意する |
| 1.2.5 | 音声解説（収録済み）の達成基準 | | ★ | | 動画で情報を提供する場合は、動画で伝える情報の内容をテキストで用意する |

| JIS X8341-3:2016 達成基準 | | 適合レベル | | | 達成ポイント |
|--------------------------|----------------------------|-------|----|-----|--|
| | | A | AA | AAA | |
| 1.2.6 | 手話（収録済み）の達成基準 | | | ★ | 動画で情報を提供する場合は、動画で伝える情報の内容をテキストで用意する |
| 1.2.7 | 拡張音声解説（収録済み）の達成基準 | | | ★ | 動画で情報を提供する場合は、動画で伝える情報の内容をテキストで用意する |
| 1.2.8 | メディアに対する代替コンテンツ（収録済み）の達成基準 | | | ★ | 動画で情報を提供する場合は、動画で伝える情報の内容をテキストで用意する |
| 1.2.9 | 音声だけ（ライブ）の達成基準 | | | ★ | 音声で情報を提供する場合は、音声で伝える情報の内容をテキストで用意する |
| 1.3.1 | 情報及び関係性の達成基準 | ★ | | | スタイルシートを適切に使用する 文書の見出しを適切に分ける 箇条書きは HTML で表現する データを表すための表組みを分かりやすく作る |
| 1.3.2 | 意味のある順序の達成基準 | ★ | | | レイアウトは読み上げ順に配慮して構成する 単語の間にスペースや改行を挿入しない |
| 1.3.3 | 感覚的な特徴の達成基準 | ★ | | | 形または位置のみに依存した情報提供はしない |
| 1.4.1 | 色の使用の達成基準 | ★ | | | リンク箇所は、識別と選択のしやすさに配慮する 色だけに依存した情報提供はしない |
| 1.4.2 | 音声の制御の達成基準 | ★ | | | 音声で情報を提供する場合は、音声で伝える情報の内容をテキストで用意する |
| 1.4.3 | コントラスト（最低限レベル）の達成基準 | | ★ | | 文字色と背景色の組合せ、コントラストに配慮する |
| 1.4.4 | テキストのサイズ変更の達成基準 | | ★ | | スタイルシートを適切に使用する 文字サイズは利用者が変更できるようにする |
| 1.4.5 | 文字画像の達成基準 | | ★ | | スタイルシートを適切に使用する 文字サイズは利用者が変更できるようにする |
| 1.4.6 | コントラスト（高度レベル）の達成基準 | | | ★ | 文字色と背景色の組合せ、コントラストに配慮する |
| 1.4.7 | 小さな背景音、又は背景音なしの達成基準 | | | ★ | 音声で情報を提供する場合は、音声で伝える情報の内容をテキストで用意する |
| 1.4.8 | 視覚的提示の達成基準 | | | ★ | 文字サイズは利用者が変更できるようにする 読みやすい文字サイズ、フォント、行間を指定する |
| 1.4.9 | 文字画像（例外なし）の達成基準 | | | ★ | スタイルシートを適切に使用する 文字サイズは利用者が変更できるようにする |

| JIS X8341-3:2016 達成基準 | | 適合レベル | | | 達成ポイント |
|--------------------------|----------------------------|-------|----|-----|--|
| | | A | AA | AAA | |
| 2.1.1 | キーボードの達成基準 | ★ | | | キーボードだけですべての操作が行えるようにする |
| 2.1.2 | キーボードトラップなしの達成基準 | ★ | | | キーボードだけですべての操作が行えるようにする |
| 2.1.3 | キーボード（例外なし）の達成基準 | | | ★ | キーボードだけですべての操作が行えるようにする |
| 2.2.1 | タイミング調整可能の達成基準 | ★ | | | 閲覧や操作、入力に制限時間を設定しない |
| 2.2.2 | 一時停止、停止及び非表示の達成基準 | ★ | | | ページの自動更新や自動的な移動は行わない 表示内容の移動や変化について注意する |
| 2.2.3 | タイミング非依存の達成基準 | | | ★ | 閲覧や操作、入力に制限時間を設定しない |
| 2.2.4 | 割込みの達成基準 | | | ★ | ページの自動更新や自動的な移動は行わない |
| 2.2.5 | 再認証の達成基準 | | | ★ | 閲覧や操作、入力に制限時間を設定しない |
| 2.3.1 | 3回のせん（閃）光、又はしきい（閾）値以下の達成基準 | ★ | | | 画面の激しい点滅は行わない |
| 2.3.2 | 3回のせん（閃）光の達成基準 | | | ★ | 画面の激しい点滅は行わない |
| 2.4.1 | ブロックスキップの達成基準 | ★ | | | 共通のメニューを読みとばす仕組みを用意する フレームは使用しない |
| 2.4.2 | ページタイトルの達成基準 | ★ | | | 適切なページタイトルをつける |
| 2.4.3 | フォーカス順序の達成基準 | ★ | | | レイアウトは読み上げ順に配慮して構成する キーボードだけですべての操作が行えるようにする |
| 2.4.4 | リンクの目的（コンテキスト内）の達成基準 | ★ | | | リンクの表現は、リンク先を予測できる内容にする PDF等HTML以外のファイルにリンク設定する場合は、分かりやすさに配慮する 福岡市ホームページ内のリンクと、外部へのリンクを区別する 画像に適切な代替テキストを用意する |
| 2.4.5 | 複数の手段の達成基準 | | ★ | | 複数の探索手段を用意する |
| 2.4.6 | 見出し及びラベルの達成基準 | | ★ | | 文書の見出しを適切に分ける 入力フォームは分かりやすく作成する |

| JIS X8341-3:2016 達成基準 | | 適合レベル | | | 達成ポイント |
|--------------------------|--------------------|-------|----|-----|--|
| | | A | AA | AAA | |
| | | | | | フォームの入力内容を確認し、取り消しや修正が可能な仕組みを用意する |
| 2.4.7 | フォーカスの可視化の達成基準 | | ★ | | キーボードだけですべての操作が行えるようにする |
| 2.4.8 | 現在位置の達成基準 | | | ★ | 現在位置を把握するための仕組みを用意する |
| 2.4.9 | リンクの目的(リンクだけ)の達成基準 | | | ★ | リンクの表現は、リンク先を予測できる内容にする PDF等HTML以外のファイルにリンク設定する場合は、分かりやすさに配慮する 福岡市ホームページ内のリンクと、外部へのリンクを区別する 画像に適切な代替テキストを用意する |
| 2.4.10 | セクション見出しの達成基準 | | | ★ | 文書の見出しを適切に分ける |
| 3.1.1 | ページの言語の達成基準 | ★ | | | 言語コードを指定する |
| 3.1.2 | 一部分の言語の達成基準 | | ★ | | 言語コードを指定する |
| 3.1.3 | 一般的ではない用語の達成基準 | | | ★ | 専門用語、省略語、流行語は多用しない 外国語・外来語は多用しない |
| 3.1.4 | 略語の達成基準 | | | ★ | 専門用語、省略語、流行語は多用しない |
| 3.1.5 | 読解レベルの達成基準 | | | ★ | 分かりやすい説明、表現を心がける |
| 3.1.6 | 発音の達成基準 | | | ★ | 読みの難しい言葉に読み方を併記する |
| 3.2.1 | フォーカス時の達成基準 | ★ | | | 福岡市ホームページ内のリンクと、外部へのリンクを区別する ページの自動更新や自動的な移動は行わない キーボードだけですべての操作が行えるようにする |
| 3.2.2 | 入力時の達成基準 | ★ | | | 福岡市ホームページ内のリンクと、外部へのリンクを区別する ページの自動更新や自動的な移動は行わない キーボードだけですべての操作が行えるようにする |

| JIS X8341-3:2016 達成基準 | | 適合レベル | | | 達成ポイント |
|--------------------------|----------------------------------|-------|----|-----|--|
| | | A | AA | AAA | |
| 3.2.3 | 一貫したナビゲーションの達成基準 | | ★ | | 共通のナビゲーションの仕組みを用いる |
| 3.2.4 | 一貫した識別性の達成基準 | | ★ | | 共通のナビゲーションの仕組みを用いる |
| 3.2.5 | 要求による変化の達成基準 | | | ★ | 福岡市ホームページ内のリンクと、外部へのリンクを区別する ページの自動更新や自動的な移動は行わない |
| 3.3.1 | エラーの特定の達成基準 | ★ | | | フォームの入力内容を確認し、取り消しや修正が可能な仕組みを用意する |
| 3.3.2 | ラベル又は説明の達成基準 | ★ | | | 入力フォームは分かりやすく作成する フォームの入力内容を確認し、取り消しや修正が可能な仕組みを用意する |
| 3.3.3 | エラー修正の提案の達成基準 | | ★ | | フォームの入力内容を確認し、取り消しや修正が可能な仕組みを用意する |
| 3.3.4 | エラー回避（法的、金融及びデータ）の達成基準 | | ★ | | フォームの入力内容を確認し、取り消しや修正が可能な仕組みを用意する |
| 3.3.5 | ヘルプの達成基準 | | | ★ | 入力フォームは分かりやすく作成する フォームの入力内容を確認し、取り消しや修正が可能な仕組みを用意する |
| 3.3.6 | エラー回避（全て）の達成基準 | | | ★ | フォームの入力内容を確認し、取り消しや修正が可能な仕組みを用意する |
| 4.1.1 | 構文解析の達成基準 | ★ | | | 規格及び仕様に準拠する |
| 4.1.2 | 名前（name）、役割（role）及び値（value）の達成基準 | ★ | | | フレームは使用しない 規格及び仕様に準拠する |

3. ホームページ構築・運営上必要な取組

3.1 アクセシビリティ方針の策定・公開

「みんなの公共サイト運用ガイドライン」は、国及び地方公共団体等公的機関が構築・運用する全てのウェブコンテンツについてアクセシビリティ方針を策定し、公開することを求めている。福岡市ホームページ (<https://www.city.fukuoka.lg.jp>) については、広報課にて「福岡市ウェブアクセシビリティ方針」を策定し、公開している。

(参考) アクセシビリティについて <https://www.city.fukuoka.lg.jp/sub/accessibility.html>

各部署が独自に構築・管理運営するホームページについても、担当課にてそれぞれのウェブアクセシビリティ方針を策定し、公開することが必要である。

アクセシビリティ方針には、主に取組対象、適合レベル、達成期限を定める。基本的には適合レベル AA に準拠するようホームページを構築する必要があるが、やむを得ない事情によって対応できない場合は、期限を分けて設定することも可能である。具体的な手法は「みんなの公共サイト運用ガイドライン」の「5. ウェブアクセシビリティ方針の策定と公開」を参照すること。

※アクセシビリティ方針については、広報課で内容の確認・アドバイスを行うため、必要に応じて事前に相談すること。

3.2 取組内容及び実現内容の確認

「みんなの公共サイト運用ガイドライン」は、自治体や官公庁等が構築・運用する全てのウェブコンテンツについて、1年に1回「ウェブアクセシビリティ取組確認・評価表」を使って、団体全体としてのアクセシビリティに関する取組のほか、個々のホームページ等のアクセシビリティに関する取組の内容を確認し、評価結果を公開することを求めている。

この取組内容の確認と公開は、各ホームページでアクセシビリティへの取り組みを段階的に進め、向上させていくために活用するものである。

福岡市は、広報課にて団体全体としての取組内容を評価し結果を公開するとともに、福岡市ホームページ (<https://www.city.fukuoka.lg.jp>) については、個々のホームページ等の取組内容を評価し結果を公開している。

各部署が独自に構築・管理運営するホームページについては、担当課が「個々のホームページの取組確認・評価表」を使って取組内容を評価し各サイトで結果を公開する。

具体的な手法は「みんなの公共サイト運用ガイドライン」の「7. 取組内容及び実現内容の確認と公開 7.1. 運用ガイドラインに基づいた取組内容の確認と公開」を参照すること。

※評価の考え方や具体的な手法については、必要に応じて広報課に相談すること。

(参考) 参照すべき規格及び文書

- ・ JIS X 8341-3:2016

<https://www.jisc.go.jp/app/jis/general/GnrJISSearch.html>

※日本産業標準調査会「JIS 検索」で JIS 規格番号「X8341-3」を検索することで閲覧できます

- ・ WCAG2.0 解説書

<https://waic.jp/docs/UNDERSTANDING-WCAG20/Overview.html>

- ・ WCAG2.0 達成方法集

<https://waic.jp/docs/WCAG-TECHS/Overview.html>

- ・ WCAG2.1 解説書

<https://waic.jp/translations/WCAG21/Understanding/>

- ・ WCAG2.1 達成方法集

<https://waic.jp/translations/WCAG21/Techniques/>

- ・ 「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2024年版）」（総務省）

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/b_free/guideline.html

- ・ 「ウェブアクセシビリティ導入ガイドブック」（デジタル庁）

<https://www.digital.go.jp/resources/introduction-to-web-accessibility-guidebook>

- ・ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（内閣府）

https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/law_h25-65.html

- ・ 福岡市障がい者差別解消条例について（福岡市）

https://www.city.fukuoka.lg.jp/fukushi/syougaisyashien/health/sabekai_2.html